

事務事業チェックシート

事務事業No **11294** 事業名 **わかやま名所・旧跡絵画展開催交付金事業**

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
中事業	わかやま名所・旧跡絵画展開催交付金事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	坂井 正二 435-1194
事業実施の根拠法令	わかやま名所・旧跡絵画展開催交付金交付要綱		関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	本市の名所や旧跡をテーマにした絵画展を開催し、本市の美術文化の振興を図るだけでなく、市民に歴史や文化を身近に感じ慣れ親しんでもらう。		油絵・水彩画・版画・日本画・水墨画などの一般公募を行い展示し、作品の趣に重点を置く絵画展を開催する。 交付先 わかやま名所・旧跡絵画展実行委員会 会長 森本 光子			
事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	
	第4回わかやま名所・旧跡絵画展 平成29年1月29日～2月4日 和歌山市民会館 展示室	第5回わかやま名所・旧跡絵画展 平成30年1月28日～2月3日 和歌山市民会館 展示室	第6回わかやま名所・旧跡絵画展 平成31年1月27日～2月2日 和歌山市民会館 展示室	第7回わかやま名所・旧跡絵画展 令和2年1月26日～2月1日 (予定) 和歌山市民会館 展示室	第8回わかやま名所・旧跡絵画展 令和3年1月下旬～2月上旬 (予定) 和歌山市民会館 展示室	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	800	800	800	800	800	800	800	0	800	0	
伸び率(%)	△1.7%	△1.7%	0%	0%	0%	0%	0%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	875	1,034	1,197	1,356	1,599	1,679	1,839	0	1,839	0
	正規職員以外	134	134	100	200	497	0	0	0	0	0
	小計	1,009	1,168	1,297	1,556	2,096	1,679	1,839	0	1,839	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	400	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	800	800	800	800	800	800	400	0	800	0	
所要人数(人)	正規職員	0.11	0.13	0.15	0.17	0.20	0.21	0.23	0.00	0.23	0.00
	正規職員以外	0.05	0.05	0.04	0.08	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	負担金、補助及び交付金 800千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
開催日数	日	目標値	7	7	7	7	7
		実績値	7	7	7		
		達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
出展数	点	目標値	110	110	110	110	110
		実績値	104	94	92		
		達成度(%)	94.5%	85.5%	83.6%	%	%
入賞者数	人	目標値	13	13	10	10	10
		実績値	13	13	10		
		達成度(%)	100%	100%	100%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>絵画の制作者に発表の機会を与えるだけでなく、絵画を通じて本市の名所や旧跡を広く知ってもらうことにつながっている。</p>
見直し・改善内容	<p>入賞作品を掲載したポスターを市内の関係施設や県内の観光協会に配布し、本市の名所や旧跡のPRに努める。</p>